

2

もっと知りたいあなたに 平成24年度予算を見てみよう

1 市のお財布はどうなっているの？

藤沢市の予算は、一般会計、特別会計、公営企業会計の3種類の会計があります。お財布で言えば3種類のお財布があって、お金の出し入れをします。



1,196億
5,100万円

一番大きいお財布が「一般会計」です。

福祉・子育て・道路整備などのまちづくりに必要なお金を経理する会計です。家計にたとえると生活費に使うお金を出し入れするお財布です。
平成24年度の当初予算の額は、1,196億5,100万円(※骨格予算)になっています。

一般会計

骨格予算とは…

藤沢市では、2012年2月に市長選挙があったことから、政策的な判断ができにくい等の理由により、政策的経費(新規の建設事業費など)の予算計上は選挙後の補正予算編成に先送りしています。

骨格予算とは、人件費や扶助費などの義務的経費や、行政サービスを維持していく上で必要な経費などを計上した予算のことを言います。

707億
1,570万円

次のお財布は「特別会計」です。

特別会計

お金の出入りをはっきりさせるために、一般会計とは別にしています。
藤沢市には、「国民健康保険事業費」や「区画整理事業費」など8の特別会計があります。

- 北部第二(三地区)土地区画整理事業費 …… 10億7,367万円
- 競輪事業費 …… 31億1,053万円
- 墓園事業費 …… 3億7,034万円
- 国民健康保険事業費 …… 390億5,730万円
- 柄沢特定土地区画整理事業費 …… 11億8,233万円
- 湘南台駐車場事業費 …… 1億4,790万円
- 介護保険事業費 …… 214億7,958万円
- 後期高齢者医療事業費 …… 42億9,405万円

362億
9,628万円

最後のお財布が「公営企業会計」です。

普通の会社と同じように、利用した人から料金をもらって事業を行っているお財布です。

藤沢市には、下水道と病院の二つの公営企業会計があります。

公営企業会計

- 下水道事業費 …… 170億8,035万円
- 市民病院事業 …… 192億1,593万円



全会計 **2,266億6,298万円**

2 市の歳入(1年間の収入)はどんな状況ですか?

では、みなさんに一番身近で、一番お金の出入りが大きい一般会計のお財布を例に、平成24年度の歳入がどのようになっているのか見てみましょう。



藤沢市の歳入には、自主財源と依存財源があります。

自主財源
854億1,152万円

みなさんに納めていただく市税やごみ処理手数料など、藤沢市が自主的に財源として集めることができる収入です。

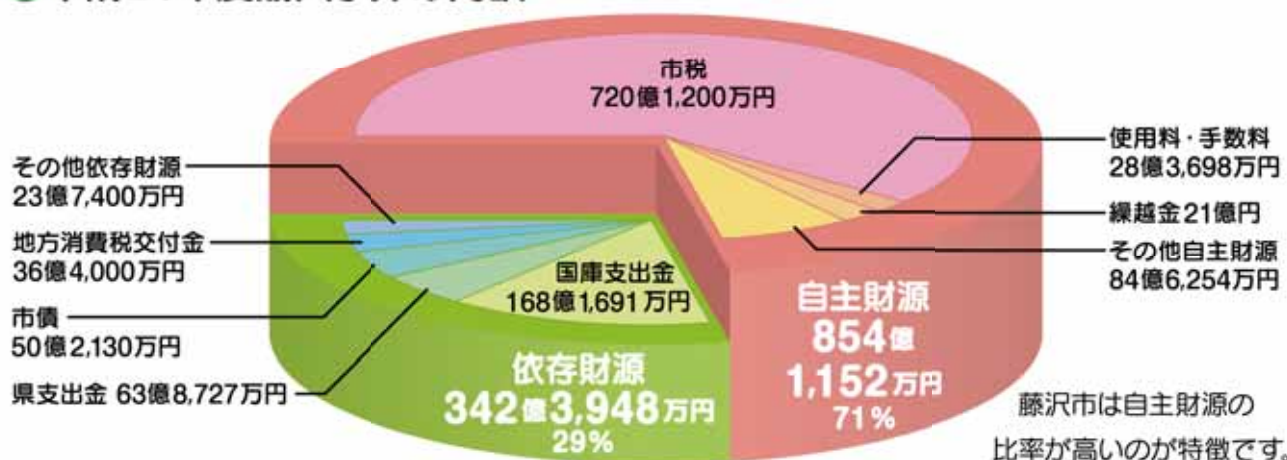


依存財源
342億3,948万円

道路や施設をつくる時に国からもらう補助金や、借り入れる市債など、国が定めた額を交付されたり、割り当てられたりする収入です。

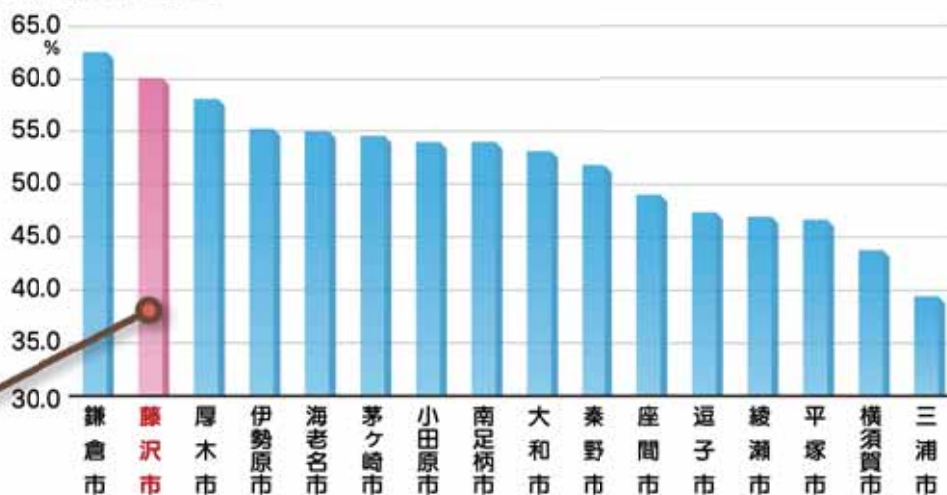


●平成24年度歳入予算の内訳



●歳入予算に占める市税の割合

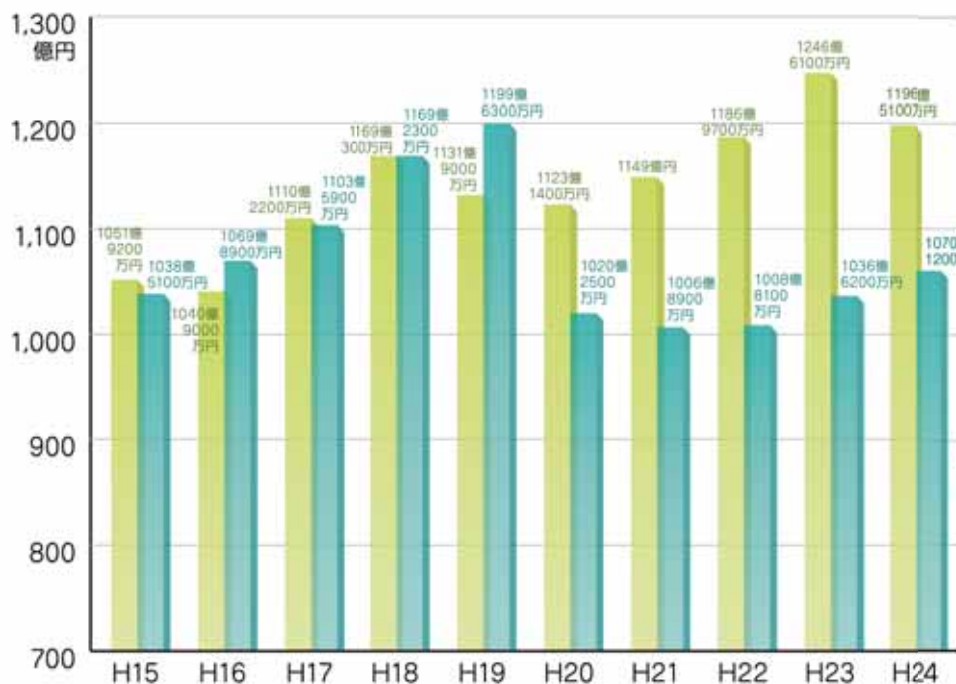
藤沢市は
県内16市中
第2位です



(横浜市、川崎市、相模原市を除く16市)

● 予算規模の推移

■ 一般会計 ■ 特別会計・公営企業会計

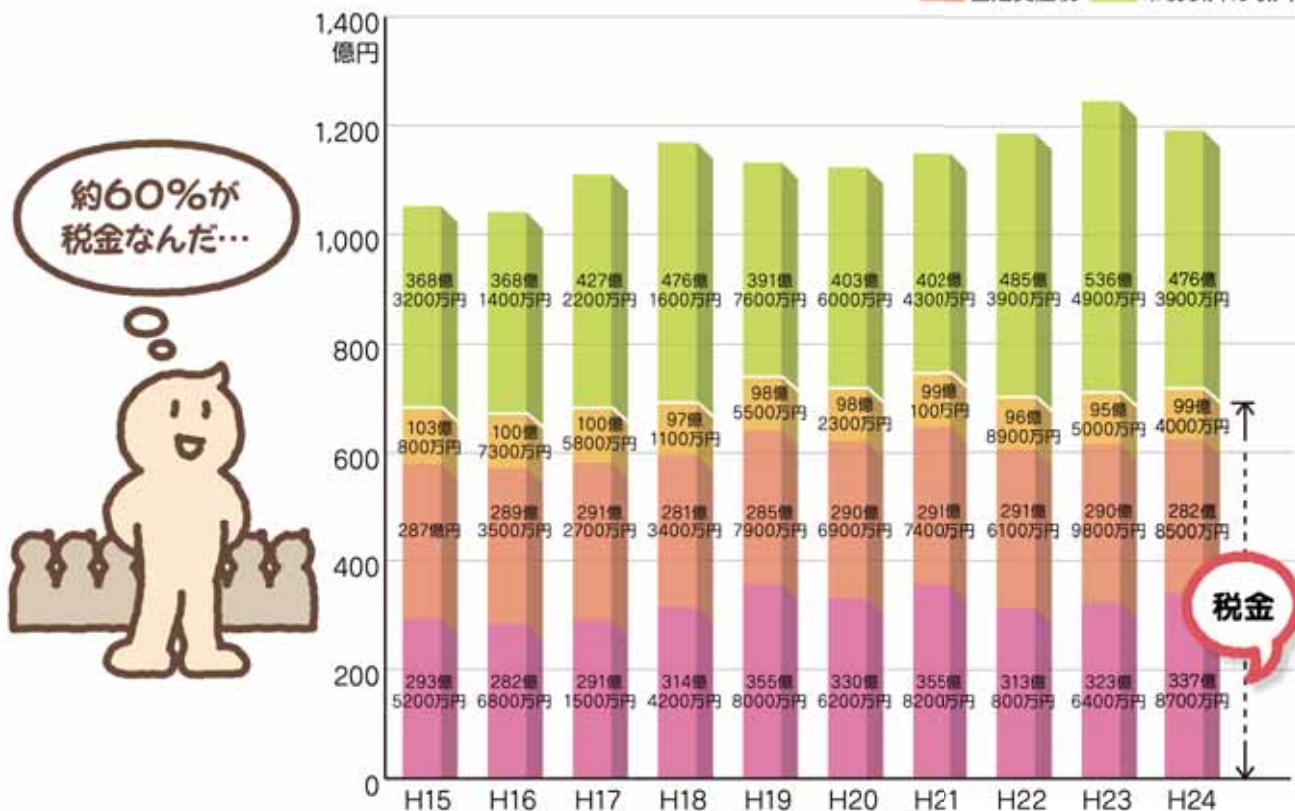


平成24年度の一般会計の当初予算は、骨格予算で編成しており、政策的経費(新規の建設事業費など)を計上していないため、予算規模は前年度の当初予算に比べ減となっています。

特別会計・公営企業会計の当初予算は、国民健康保険事業における医療給付費や介護保険事業における介護給付費の伸びや市民病院の再整備事業における工事費の増などにより前年度の当初予算に比べ増となっています。

● 一般会計歳入予算に占める市税の推移

■ 市民税 ■ その他の市税
■ 固定資産税 ■ 市税以外の収入



市民税や固定資産税など市税収入の歳入予算全体に占める割合は、平成24年度は当初予算を骨格予算で編成しているため、市税以外の収入が減となっていることや住民税の年少扶養控除廃止等に伴う市民税の増等により3年ぶりに60%を超えています。

3 市の歳出(1年間の支出)はどんな状況ですか?

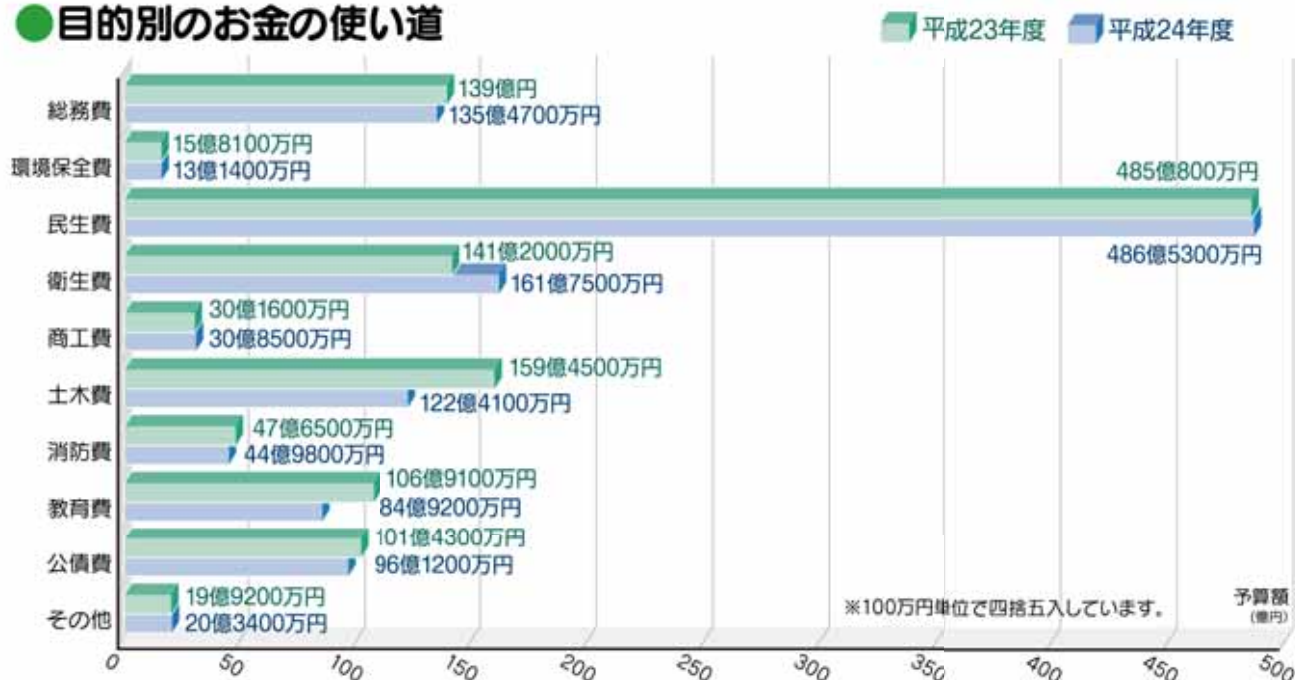
入ってきたお金は、どのように使われているのでしょうか。今度は歳出について見てみましょう。

市では、道路や学校を作ったり、火災や急病に備えて消防車や救急車を用意したり、そのほか子育てや福祉などさまざまな事業にお金を使っています。

では、何にお金を使っているのでしょうか? 簡単に説明すると次のようになります。



● 目的別のお金の使い道



総務費
市民センターや市民会館の運営、広報ふじさわの発行、税金の徴収や住民票の発行などに使われます。

環境保全費
交通安全や防犯対策、公害防止や緑地の保全などに使われます。

民生費
保育園の運営費、小児医療、高齢者や障がい者などの福祉に使われます。

衛生費
ごみを集めたり処理したりする経費や保健所の運営などに使われます。

商工費
商店街や中小企業を応援したり、観光施設の管理などに使われます。

土木費
道路や橋を整備したり、公園をつくったり、市営住宅の管理などに使われます。

消防費
消防車や救急車を管理したり、消防署の整備などに使われます。

教育費
小学校や中学校の校舎や体育館、公民館や図書館、スポーツ施設の整備や運営に使われます。

公債費
大きな施設や道路をつくるときに、国や銀行などから借り入れたお金の返済に使われます。

その他
農業や水産業、働いている人や仕事を探している人を応援する事業などに使われます。

4 家計簿にたとえて見ると

家庭と市役所では、お金の使い道が違うので単純に比べられません
が、例えば藤沢市の予算を年収500万円(月収41万円)の家計に置き換えて
みると…



藤沢市の予算

こうなります。

収 入		支 出	
市 税	720億1,200万円	人件費	259億4,120万円
使用料、手数料など	133億9,952万円	扶助費	316億3,884万円
【自主財源合計】	854億1,152万円	物件費	200億9,749万円
国・県支出金など	292億1,818万円	投資的経費・維持補修費	81億1,248万円
市債の発行	50億2,130万円	公債費	96億 405万円
		繰出金・補助費など	207億1,299万円
		積立金・貸付金	35億4,395万円
収入の合計	1,196億5,100万円	支出の合計	1,196億5,100万円

家計簿にたとえると…

こんな感じかな…

収 入		支 出	
お父さんの給料	24万7,000円	食 費	8万9,000円
お母さんのパート代	4万6,000円	医療費・保育料	10万8,000円
【給料等の合計】	29万3,000円	光熱水費や被服代	6万9,000円
その他臨時収入	10万円	家の増築・修理、家財購入	2万8,000円
銀行からの借入	1万7,000円	住宅ローン返済	3万3,000円
		子どもへの仕送り	7万1,000円
		貯 金	1万2,000円
収入の合計	41万円	支出の合計	41万円

このほかにローンの残高や預貯金の残高は、どうなっているのでしょうか？

ローンの残高(市債残高) 784億1,706万円 家計簿では 327万6,900円
預貯金の残高(基金残高) 115億8,272万円 家計簿では 48万4,000円

※平成22年度一般会計の決算額をもとにしています。

収入ではお父さんやお母さんの給料で71.5%を占めています。年間の借金も多くはありませんね。

支出では、医療費やローンの返済、子どもへの仕送りなど、なかなか節約が難しい経費が大きいですね。

